

No.69

け  
や  
き



特  
集

知りたい、電子書籍サービス

京都市図書館インタビュー

REPORT

2023年度けやき総会、図書館交流会

TOPICS

赤ちゃん絵本ふれあいタイム

図書館友の会けやき ニュースレター 2023.9.29

特集

知りたい、電子書籍サービス

—京都市図書館インタビュー—

今年2月にスタートした、京都市図書館の「電子書籍サービス」、皆さん利用されましたか？すでに図書館カードを持っていて、インターネットサービス「My ライブラリ」のパスワードを登録している人であれば、すぐに利用できます。貸出・予約とも2点まで、14日間借りられて、期限がくれば、自動で返却。とても便利ですが、紙の本に慣れた人が使うには、ハードルが高いかもしれません。新しいサービスの使い方や、メリットとデメリットについて、京都市図書館にお話をうかがいました。

◇2023年8月3日 於：京都アスニー会議室

◇図書館：佐藤武史氏（京都市教育委員会生涯学習部施設運営担当図書館運営課長）

尾上奈緒氏（公益財団法人京都市生涯学習振興財団財団本部総務課図書館担当課長）

◇けやき：永井、伊藤、山田、澤田

みんながいつでも使えるサービスを

けやき：今回電子書籍サービスを導入された経緯を教えてください。

図書館：子どもの読書活動推進法や読書バリアフリー法に対応するため、電子書籍サービスの導入を検討してきましたが、今年2月、5年に一度の図書館全体のシステム更新に合わせて、導入することになりました。

けやき：幅広い層へのサービスの提供を目的としたものなのですね。

図書館：コロナ禍で、図書館をいつものように利用できなくなったことが、電子書籍サービスの実現を後押ししたと思います。



## サービス開始から6カ月経って

けやき：利用状況は？

図書館：2月10日にサービスを開始しましたが、初日は1769回の貸出があり、関心の高さが伺えました。今は落ち着いてきて1日平均135回ほどです。

けやき：どのような層の利用が多いのですか？

図書館：年代別では40代の利用が最も多く、50代、30代と続きます。

けやき：若者の利用は少ないのですね。

図書館：はい。ただ、各年代別の紙の本も含めた貸出数に占める電子書籍の割合でみると、10代、20代の電子書籍利用率は高いです。未就学児と70代以上は、電子書籍の割合は少なく、紙の本を利用する方がとても多いです。

けやき：電子書籍の蔵書数は？

図書館：3600冊でスタートし、順次増やしていく予定です。今年度はあと600冊ほど購入する予定です。

けやき：自治体によっては、雑誌や音楽も電子図書館で借りられるところもあるようですが。

図書館：京都市では購入していません。電子書籍などを図書館に提供するシステムは複数あり、自治体によってどのシステムを使うか異なります。自治体によって、電子書籍サービスの位置づけが異なり、それに合わせたシステムを選択しています。

## 京都市図書館における新サービスの位置づけ

けやき：京都府内では京都府立図書館をはじめ、宇治市や福知山市などでも導入されています。他市に比べて、蔵書数が少ないように思いますが？

図書館：京都市では「電子図書館」ではなく「電子書籍サービス」と呼んでいます。従来の図書館サービスをより充実させるためのサービスのひとつとして位置づけています。忙しくて来館できない人や、外出しにくい人に利用してもらうことを、第1の目的に考えています。

けやき：従来の図書館と電子図書館の2つの図書館があるということではないのですか？

図書館：図書館の大きな役割に資料の保存がありますが、電子書籍は資料そのものを買うのではなく「閲覧権」を買うので、保存することはできません。多くの資料は「2年または52回までの貸出」という利用制限があります。そういう意味では、従来の図書館の機能を果たせないところもあると考えています。

## 紙の本とどう違う？

けやき：電子書籍にはどんな特色があるのでしょうか？

図書館：「モノ」ではないので、汚れたり破れたりすることがありません。だから、紙の本では購入しにくかった、問題集やクロスワードパズルも貸し出せます。またガイドブックは、旅のお供として紙の本よりお手軽です。

けやき：ジャンルなどに偏りがあると聞きます。

図書館：ベストセラーは図書館用の電子書籍に提供されにくいですが、紙の本は出版されたものすべての中から、どの本を購入するか選ぶことができます。しかし電子書籍は、システム会社から図書館用に提供された限られた本の中から選ぶことになります。図書館用の電子書籍は紙の本に比べ高価なので、例えば、調べ物用の資料は府立図書館の電子書籍で、というように、図書館間の蔵書の棲み分けも大事だと考えています。

けやき：紙の本のように、他の自治体との相互貸借はできないのですか？

図書館：各自治体が個々にサービス提供会社と契約をしているので、基本的には自治体をまたいで電子書籍を貸し借りすることはできません。

けやき：利用方法での特徴は？

図書館：すべての書籍ではありませんが、拡大して読むことができたり、音声読み上げができたりします。紙の本のように重くもなく、24時間いつでも貸出返却ができます。

けやき：図書館側のメリットとしては？

図書館：修理の必要がなく、書架もいりません。期限がくれば自動で返却されるので、督促の必要がなく、管理しやすいです。

## 便利に使うために

けやき：電子書籍のなかから、お目当ての本を見つける方法は？

図書館：電子書籍サービスのホームページにはおすすめの書籍が表紙の画像とともに紹介されているので、まずその中から選んでみるのもいいかもしれません。また、紙の本の蔵書検索をして、その本が電子書籍でも所蔵されている場合は、そのことが分かるようになっています。

けやき：予約ができるのですね。

図書館：電子書籍も紙の本と同様、1冊の本は同時にひとりしか借りることはできないので、貸出中の本は予約していただくことになります。貸出中でも、試し読みができるものもあるので、内容を見て借りたり、予約したりするかどうか決めることができます。「2年もしくは52回まで」という利用制限がある書籍は、予約数その制限数に達すると、それ以上予約できなくなります。

けやき：著作権切れの本をデータ化した「青空文庫」(注1)の蔵書も多いですね。

図書館：青空文庫は、電子書籍サービスを使わなくても読むことができますが、電子書籍サービスを通して借りて読むと、音声読み上げ機能を使って聞けるなど使い勝手がいいです。また青空文庫は同時に何人でも借りることができます。

(注1) 青空文庫—著作権が消滅した作品や、著者が公開を許諾した作品を集めて電子化し、インターネットで無料公開するサービス。作品は、テキスト形式とHTML形式で公開されている。

## 子どもや若者への広がり

けやき：学校での利用状況は？

図書館：調べ学習などで生徒が同時に同じ資料を見るのに、デジタル資料は適していますが、今のサービスでは青空文庫以外は複数名で同時に借りることはできません。

けやき：宇治市や福知山市では、小中学生に市が配備したデジタル端末で電子図書館を使えるようにしたことで、児童生徒に利用が広がっているそうですが？

図書館：京都市のGIGAスクール構想(注2)とどのように連携していくか、これから考えていきたいと思っています。まず紙の本に親しんでから、電子書籍に広げていくのがよいと思うので、子どもの読書環境を整えるために、どのような方法がよいのか、考えていきたいです。

けやき：若者に利用してもらうためには、若者向けのコンテンツを充実させる必要がありますね。

(注2) GIGAスクール構想—児童・生徒ひとり1台の情報端末を全国の小学校と中学校に配備し、学校において、個別的かつ協働的な新しい学びの形を実現するための構想。

広報誌などに印刷されているQRコード付きの案内  
QRコードが読めないときは京都市図書館のサイトを検索してください。

### 多くの人に使ってもらうために

けやき：図書館に足を運ぶことが難しい人に電子書籍サービスはメリットがありますが、高齢者や障害のある人の利用は多いですか？

図書館：対面サービスではないので、どのような方が利用されているか、詳しくは分かりませんが、70歳以上の利用はデータから見て少ないです。

けやき：このようなサービスがあることをまず知ってもらう必要がありますね。

図書館：館内でポスターを掲示したり、サービスの概要を説明した利用案内を配布したりしています。図書館を今まで利用してこなかった人にサービスを知ってもらうために、地下鉄の駅にポスターを貼ったりしています。

けやき：音声読み上げ機能がある図書は、視覚障害者の方にも便利ですが、デジタイズ（注3）に比べると冊数が少なく、同時に借りられないなど不便ですね。

図書館：デジタイズは障害がある方に利用が限られるので、デジタイズの利用対象ではないけれど、視覚などに不自由がある方に使っていただければと思います。

（注3）デジタイズ図書—デジタル録音図書の国際標準規格。視覚障害者のための録音テープに代わるものとして開発された。詳しくはけやきニュースレター68号。

令和5年2月10日スタート！  
24時間いつでもどこでも読めます！

## 京都市図書館の電子書籍

利用してみませんか？

いろいろなジャンル！ 貸出は2点14日間！ バリアフリー対応！

- 読みたい！  
小説、参考書、ビジネス、料理、趣味、絵本……あなたの「読みたい」が見つかるかも？
- 予約は2点、取置7日間。貸出後は、期限がきたら自動返却！
- ああ  
文字拡大や音声読み上げなど便利な機能を備えた電子書籍も！

**使い方**  
ご自身のパソコンやスマートフォン、タブレットから「京都市図書館 電子書籍サービス」にアクセス！  
<https://web.d-library.jp/kyotocity/>

- 1 ログイン**  
利用者ID（図書館カード番号）と、パスワードを入力してログイン。
- 2 探す**  
特集やジャンルから探したり、ワード検索ができます。
- 3 借りる**  
「借りる」ボタンを押すだけで完了！貸出中の場合は「予約」できます。
- 4 読む**  
貸出期間中は、「読む」ボタンでいつでも読めます。

ご利用には、事前に図書館カードの発行と、インターネットサービス「Myライブラリ」のパスワード登録が必要です。  
京都市図書館にご来館のうえ、カウンターでお申込みください。

※「Myライブラリ」のパスワードを登録済の方は、そのまま電子書籍サービスをご利用いただけます。  
※相互利用の方（宇治市・大津市在住資格で登録の方）、団体貸出の方はご利用いただけません。

お問い合わせ先：（総務）京都市生涯学習課総務科 読書課企画係（京都市図書館総務部）TEL. 075-602-3145 令和5年6月

駅などに掲示された電子書籍サービスの広報ポスターインターネットサービスを利用するためのパスワード登録が必要です。

けやきの本棚

### みずとはなんじゃ

かこさとし作 鈴木まもる絵

小峰書店 2018年

当たり前と思っている事象を、楽しく

分かりやすくやさしく説明できる人を、

No. 69

かこさとし先生の他に私は知らない。最後に教えてくださったのが水。生命にとって最も大切なもの。なにか感慨深く、重みを感じざるを得ない。

こども、おとなを問わず楽しめます。さすがです、かこ先生。  
(左京図書館 吉田美香)

## その他のシステム更新 - 貸出・予約がより便利に

けやき：今回新たに、スマホを貸出カードにできたり、「シリーズ予約」ができるようになったりしていますね。

図書館：スマホで図書館ホームページの My ライブラリにログインすると、貸出カードが表示されるので便利です。

けやき：スマホで借りる人はどの程度いるのですか？

図書館：データは取っていませんが、中央図書館のカウンターでは大人の方は 1~2 割程度の方が利用されているようです。カードを忘れた方に「スマホでも借りられますよ」とご案内できるようになりました。

けやき：シリーズ予約とは？

図書館：上下巻に分かれた本や複数巻ある本を予約するとき、どの順に読むか指定することができます。これまで、上中下巻や前後編に分かれた本で、下巻や後編が先に予約確保された場合は、図書館員の判断で巻順にご用意できるまで下巻や後編を取り置いていましたが、1 巻 2 巻と続くシリーズものは、予約確保された順にお渡ししていました。シリーズ予約をすれば、利用者が自分の読みたい順を指定でき、効率よく本を回すことができます。

## 利用者の声を届ける場を

けやき：電子書籍サービスも含め、便利なサービスが増えましたが、いずれも図書館カードの発行とパスワードの登録が必要なのですね。パスワードの発行には来館する必要があるようですが、図書館に足を運べない人はどうすればいいのでしょうか？

図書館：その場合は、代理人による登録方法もありますので、最寄りの図書館にお尋ねください。

けやき：せっかくのサービスですから、これまで図書館を使ってきた人はもちろん、図書館に関心がなかった人や、行きたくても行けなかった人にもサービスを周知し、利用が広がるといいですね。

図書館：8 月発行の「京図ものがたり」で、電子書籍サービスやスマホ図書館カードについて詳しく紹介しています。いろいろな機会を見つけて、PR していきたいです。

けやき：サービスを使った利用者が感想や疑問を伝える場があれば、より使いやすいサービスになるのではないのでしょうか。私たちも積極的に新しいサービスを使ってみて、図書館に声を届けていきたいです。



京都市図書館 電子書籍サービスのトップ画面

ログインして利用します。スマートフォンの画面はデザインが少し異なります。

## 朝鮮半島の文字「ハングル」と言葉

世界の文字と言葉入門 3

野間秀樹監修 小峰書店 2004 年

この「けやき」を読んでいるそのアナタ!! 韓国語を学習してみませんか? この本は、韓国語が初めての人でも簡単に

理解できます。図解で分かりやすくまとめられていて、韓国語を少し知っている人も読んでいただけで面白いと思います。

안녕하세요? を即座に読めるとかっこいいです。ぜひ、読んでみてください。(中1 ニシキーズ)



## REPORT 2023 年度 図書館友の会けやき

### 総会・図書館交流会

2023 年 6 月 16 日

図書館友の会けやき総会と図書館交流会を集会形式で開催しました。昨年度に引き続き、コロナ禍の感染防止対策として時間短縮のため、総会資料を会員に事前に送付し、「図書館懇談会」と「ボランティア交流会」を合わせて「図書館交流会」として実施しました。

#### 図書館友の会けやき総会

今回で 25 回目となる総会は、山田左京図書館館長、木俣左京区社会福祉協議会事務局長にお越しいただき、けやき会員 10 名が参加して行われました。まず山田館長から、新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行になり、京都市図書館でもコロナ禍前のサービスの状態に戻していくので、引き続きけやきと協力していきたいと挨拶をいただきました。続いて木俣事務局長が、昨夏、図書館の空調が壊れて利用者に迷惑をかけたが、このことで、図書館が地域に欠かせないものであること、地域の豊かさにつながっていることを実感した。区社協と図書館の連携を考えていきたい、と話されました。

2022 年度活動報告、2023 年度活動方針案については会計報告、予算案とともに、出席者の拍手をもってすべて承認されました。

#### いつも時間がないと悩むあなたに贈る感情時間術

高橋貴子著 産業能率大学出版部 2022 年

誰にとっても「時間」は平等に進んでいきます。しかし、つらい事は長く感じ楽しい事は短く感じます。子育てや介護に長時間を要してしまうことを、どうしても「感情」で捉えてしま

#### 図書館交流会

総会に続いて行われた図書館交流会には、けやき会員のほか、山田左京図書館館長と福田副館長、図書館で書架整理等を行うボランティア 1 名が参加しました。

まず、左京図書館の 2022 年度の活動状況について、山田館長から説明がありました。7、8 月に空調が壊れたこともあり、前年度からの入館者数、貸出冊数の伸びは他館に比べて小さいが、コロナ禍前の利用状況からの回復率を見ると、入館者数 87.9%、貸出冊数 97.6%で、コロナ禍前の状態に戻りつつある。この回復率はいずれも京都市全体のそれを上回っているとのこと。左京図書館の取り組みとしては、少年鑑別所でのブックトーク、「お正月福袋」の貸出などを行ったと報告がありました。また福田副館長からは、夏休みの特別おはなし会など、今年度実施予定の企画について説明がありました。

つぎに参加者から、学校への出張ブックトークをもっと PR してはどうか、電子書籍サービスについて、図書館に「行政出前トーク」をお願いすることはできるのか、などの質問・要望が出されました。また団体貸出の利便性や、京都ライトハウスとその関連施設の現状についても話が及びました。

今年も、図書館ボランティアが 1 名参加され、まだ活動を始めたばかりだが、利用者が多いと感じている。本がぎっしり入っていて、書架整理の際、苦勞することもあると話されました。

休止していた行事の再開や、新しい図書館サービスのスタートなど、前向きな話題が多い交流会となりました。

(澤田)

い、限られた時間を有効に使えなかったり、無駄に感じてしまう事がありますよね。だったら、「感情で時間をコントロール」してみませんか？ 同じ 1 時間を「自分の感情で錯覚」させることによって「時間を立体化し」、更に「1 時間増やす」ことができるかも。

(会員 中原)



## TOPICS 赤ちゃん絵本ふれあいタイム

### 活動再開によせて

去る7月20日、コロナ禍の影響により活動を休止していた「赤ちゃん絵本ふれあいタイム」を再開しました。約3年ぶりの再開のため、赤ちゃん連れて来館される方がどれほどおられるかな、と心配しながらフロアに入りましたが、時間中4～5組の親子さんの利用がありました。

2～3歳の幼児さんが、あれでもないこれでもない、自由に本を選んだり、時に気に入った本を持ってきてお母さんの膝で読んでもらっていたり、見守りつつおすすめ絵本などを紹介しました。また、隣の児童館から帰りに立ち寄られた若いご夫婦と赤ちゃんには、ふれあいタイムの紹介をするなど、以前とまったく変わらない関わり合いができる環境に戻っていると感じました。中には「いつもは私が好きな本を選んで読みきかせるばかりだが、こんなふうに他の人に読んでもらえる機会があって嬉しい」と仰ってくださった方もありました。

この活動は、保健センターの8ヵ月検診で、京都市版ブックスタート(当時は絵本ふれあい事業)の事業が始まったことを受け、2004年から始まりました。以来、図書館での乳幼児と本をつなぐサービスの継続として、毎週木曜日の午前中(当面は月1回)、現在10名程のボランティア2人組が交代で、赤ちゃんとお母さんの絵本選びのお手伝いをしています。活動にご興味のある方がおられましたら、ぜひけやきまでご一報いただけましたら嬉しいです。

(赤ちゃん絵本ふれあいタイムサポーター 辻友子)



赤ちゃん絵本ふれあいタイムの様子

### けやきの活動記録

2023年5月～9月

6/16 2023年度図書館友の会けやき総会、図書館交流会 開催

8/3 中央図書館インタビュー

9/29 ニュースレター69号 印刷・発送

<事務局会議><図書館とのミーティング> (主に第1金曜日)

6/2, 7/7, 9/1, 9/29

<図書館おたのしみ会に協力> (第4土曜日)

5/27, 6/24, 7/22, 8/26, 9/23

<絵本学習会>

(第4金曜日、3,7,12月は第2金曜日、8月休み)

5/26, 6/23, 7/14, 9/22

<「赤ちゃん絵本ふれあいタイム」サポーター活動>

(今年度は毎月第3木曜日10:30～12:00)

7/20, 8/17, 9/21

### 虫眼とアニ眼

養老孟司・宮崎駿著 新潮文庫 2008年

「虫眼」をもつ養老先生と「アニ眼」をもつ宮崎監督の対談集。現代を生きる子どもたちと彼らを取り巻く環境について、二人の思いが語られる。3本の対談のうち、2本は「もののけ

姫」公開後の1997・1998年に、1本は「千と千尋の神隠し」公開後の2001年に行われた。2023年の新作映画、養老先生はどう見たのだろう。口絵に宮崎監督が描いた理想の保育園と町のイラストが22ページにわたっており、何度見ても面白い。

(会員 SA)

## 図書館友の会 けやき の仲間になりませんか

知りたい 調べたい 本の世界を楽しみたい

そんな私たちの望みをかなえ 一人一人の世界を豊かにしてくれる場所

それが私たちの願う図書館です

京都市左京図書館が市民みんなの図書館としていきいきとあり続けるために、私たち市民利用者は何ができるのか考え、活動したいと1999年に「けやき」を立ち上げました。図書館のスタッフとともに、左京図書館はじめ京都市図書館を支え、育てていきませんか。

### 次のような活動をおこなっています

#### であいの森

左京図書館のおたのしみ会（毎月第4土曜日 11:00）に協力。  
絵本を読んだり、ブックトーク・人形劇やおはなしも。

#### 「赤ちゃん絵本ふれあいタイム」サポーター

毎週木曜日 10:30～12:00、左京図書館絵本コーナーで絵本探しのお手伝いをしたり、絵本を読んだりしています。

#### 誰もが利用できる図書館を考える

図書館の現状を調べ学び、図書館に提案をしています。

#### ニュースレター編集部

友の会のニュースレター「けやき」を作成し、図書館と利用者をつなぐけやきの活動の情報を発信しています。

#### 事務局

けやきの活動の企画提案。図書館行事に企画・協力。各グループ間や左京図書館との連絡調整を行っています。

#### 絵本学習会

毎月第4金曜日 10:00～。取り上げた絵本をみんなで読み合い語り合う楽しい学習会です。

#### 講演会・学習会

主催または図書館との共催で年に数回、地元の講師を中心に様々な興味深い講演会・学習会を行っています。

◆入会希望の方は年会費500円をそえ、下記郵便振込口座にお申し込み下さい。活動費の寄付も歓迎。

郵便振込口座 口座番号 00920-8-156914 番  
口座名称 図書館友の会 けやき

◆入会・活動への参加などお問い合わせは下記の事務局へメールで。

◆図書館友の会けやきホームページをぜひご覧ください。  
ニュースレターのバックナンバーも掲載しています。

## けやき情報版

### 左京図書館「読み聞かせ交流会・絵本入門講座」

10月6日（金）

講演「絵本の絵を読むー絵本の表現の秘密」

講師：中川あゆみさん

10月13日（金）

講義「やってみよう！ 読み聞かせ」

講師：左京図書館司書さん

科学絵本・科学読み物ブックトーク

「秋を彩る葉っぱのふしぎ」

講師：島崎真紀子さん

いずれも午前10時～12時

左京合同福祉センター3階（左京図書館上階）大会議室にて

定員70名、事前申し込みは不要

子どもに本の読み聞かせをしてみたい方はもちろん、絵本や児童書に興味がある方はぜひご参加ください。

赤い羽根共同募金



ニュースレターは赤い羽根共同募金からの助成を受け作成しています。

## 編集後記

図書館の電子書籍サービス、自分に合う使い方がなかなか見つかりません。便利に使っている人に、その活用法を聞いてみたいのです。昨年の調査では、全国の町村のうち42%に公立図書館がないとのこと。紙の本を扱う図書館は持たず、電子図書館だけを持つ町村もあるそうです。読書環境の地域格差を、電子図書館が小さくできるのかもしれませんが。自分たちの街に合う電子書籍サービスのあり方を、図書館・利用者双方で見つけていきたいです。（澤田）

ブックトークの準備で本を探して集める時は、インターネットを通じて蔵書検索や予約を活用しています。とても便利なのですが、それだけでは出会えない本も。この夏、旅先で立ち寄った図書館でなんとなく書架を巡るうち、これは、と思う本が。手に取ってみて、ブックトークで紹介したいとわくわくしてきました。調べれば、京都市図書館にもその蔵書あり。本を見渡せる書架巡り、思いがけない出会いも楽しいですね。（島崎）

◇けやき 第69号 2023年9月29日

◇制作 図書館友の会 けやき ニュースレター編集部  
題字：吉政 富美子 デザイン：伊藤 理恵子

◇発行 図書館友の会 けやき

HP : <http://totomo-keyaki.com>

Mail : [info@totomo-keyaki.com](mailto:info@totomo-keyaki.com)